

武蔵野市八幡町の 交流と学びの場

交流

緑と花の散歩道

2025年11月に、開所25周年を迎えた『社会福祉法人 親の家』が、地域における公益的な取組と武蔵野市の『緑の基本計画2019』の推進を目的に開設した散歩道です。敷地内(建物東側)の居住棟に沿った、南北約120メートルの通路をリニューアルして、地域住民をはじめ近隣の園児や児童の交流の場として開放しました。地域のボランティアの皆さんが育てた草花と、開所当時から利用者を見守るシンボルツリーが、武蔵野の季節を彩ります。

学び

独歩の庭

社会福祉法人親の家開所25周年記念事業として『緑と花の散歩道』に開設した、武蔵野の自然と緑の大切さを学べる場です、江戸時代からの生態系を育む『独歩の森』から移植したコナラとクヌギの苗木と採集したドングリの成長を学習できます。『独歩の森』の詳細と『武蔵野の雑木林』の教材は、下記のQRコードから『武蔵野の森を育てる会』の公式ホームページをご覧ください。※『独歩の庭』の書は八幡町の書家・鳳月先生に揮毫(きごう)頂いたものです、



武蔵野の森を育てる会
公式ホームページ



地域のホスピタリティを緑と花の魅力で未来へつなぐ

緑と花の散歩道は、春は桜、梅雨時はアジサイなど、四季折々の花が咲き誇ります。散歩道の一部にある『独歩の庭』は、江戸時代からの豊かな生態系を育む独歩の森(境山野緑地)から移植したコナラとクヌギの苗木を育てています。家族や友人の団欒の場、子ども達の学習の場としてご利用ください。



武蔵野の森を育てる会の田中会長(右)の協力で、独歩の森の苗木を独歩の庭に移植する霜田施設長

緑の基本計画2019

『緑は市民の共有財産』を基本理念とし『緑の量・質ともに豊かな武蔵野市』を将来像とする計画です。民間と行政が一丸となって、緑を地球に優しい緑、安全安心をつくる緑、ゆとり・文化・歴史の緑、暮らしを彩る緑、感性を育む緑、協働で守り育む緑を将来にわたり確保されることを目指す取り組みです。緑と花の散歩道は、この計画の推進を目的に開設しました。

敷地内の畑はボランティアの皆さんが年間を通して野菜を栽培しています。